ESOTERIC

P-05

取扱説明書

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
 電源プラグをコンセントから抜け	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは。** **機器の内部に異物や水などが入ったときは。** **この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター (28ページに記載)に修理をご依頼ください。
 禁止	**電源コードを傷つけない。** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。** コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (28ページに記載)に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
 分解禁止	**この機器のキャビネットは絶対に外さない。** キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (28ページに記載)にご依頼ください。
	この機器を改造しない。 火災・感電の原因となります。
強制	**この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。** **ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。** 内部に熱がこもり、火災の原因となります。

注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

強制	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。** **また、接続は指定のコードを使用する。** それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。
	電源を入れる前には音量を最小にする。 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器は14kgあり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近付けない。 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
電源プラグをコンセントから抜け	**移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために(続き)

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

注意　乾電池に関する注意

禁止

乾電池は絶対に充電しない。
破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

注意　電池に関する注意

強制

電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕ とマイナス⊖ の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。
間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

長時間使用しないときは電池を取り出しておく。
液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

禁止

指定以外の電池は使用しない。
新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。
破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

分解禁止

金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。
ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。

分解しない。
電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5年に1度は、販売店または弊社サービス部門に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

目　次

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社AVお客様相談室(28ページに記載)にご連絡ください。

電源コード ×1
リモコン (RC-1156)×1
リモコン用乾電池 (単 3)×2 本
フェルト ×3 枚
取扱説明書 (本誌)×1
ご愛用者カード ×1

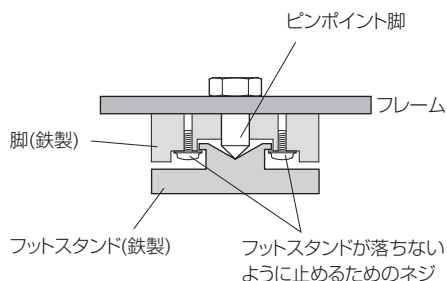
使用上の注意

- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- ガラスドア付きラックに設置した場合、ガラスドアを閉めたままリモコンのOPEN/CLOSEボタン(⏏)を押してディスクトレーを開けないでください。強い力でディスクトレーの動きが妨げられると、故障の原因になります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。
- 安定した場所に設置してください。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

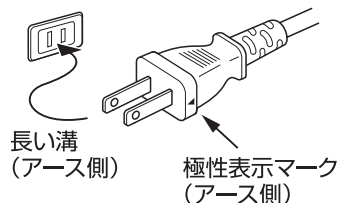
結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

設置について

本機の底板には、工具鋼を焼き入れ処理した高硬度ピンポイント脚と鉄製の脚が強固に取り付けられています。
フットスタンドはぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。

- 本機は大変重いので、設置の際は、けがをしないように十分ご注意ください。
- 設置面を傷付けたくない場合は、フットスタンドの裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

電源の極性について

付属の電源コードのプラグ部分の極性表示マーク(▲)は、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。
接続時の電源プラグの差し込む向き(極性)によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。
ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

ディスクについて

下の表に表示されているマークはディスクレーベル、またはジャケットに付いています。本機はこの表のディスクをアダプターなしで再生することができます。
この表のディスク以外は再生できません。

本機で再生できるディスクの種類とマーク

記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。

- DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCD、DVD-ROM、CD-ROMなどは再生できません。
- コピーコントロールCDやDualDiscなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

CD-R/CD-RWについて

本機は音楽CDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。

- CDレコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。

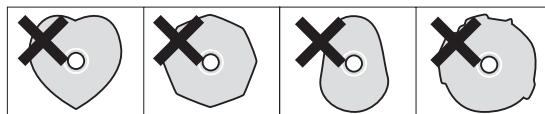
ディスクの品質、記録の状態によっては再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。

ディスクの取り扱い

- ディスクはレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトディスクの再生は片面だけです)
- ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

取り出し方

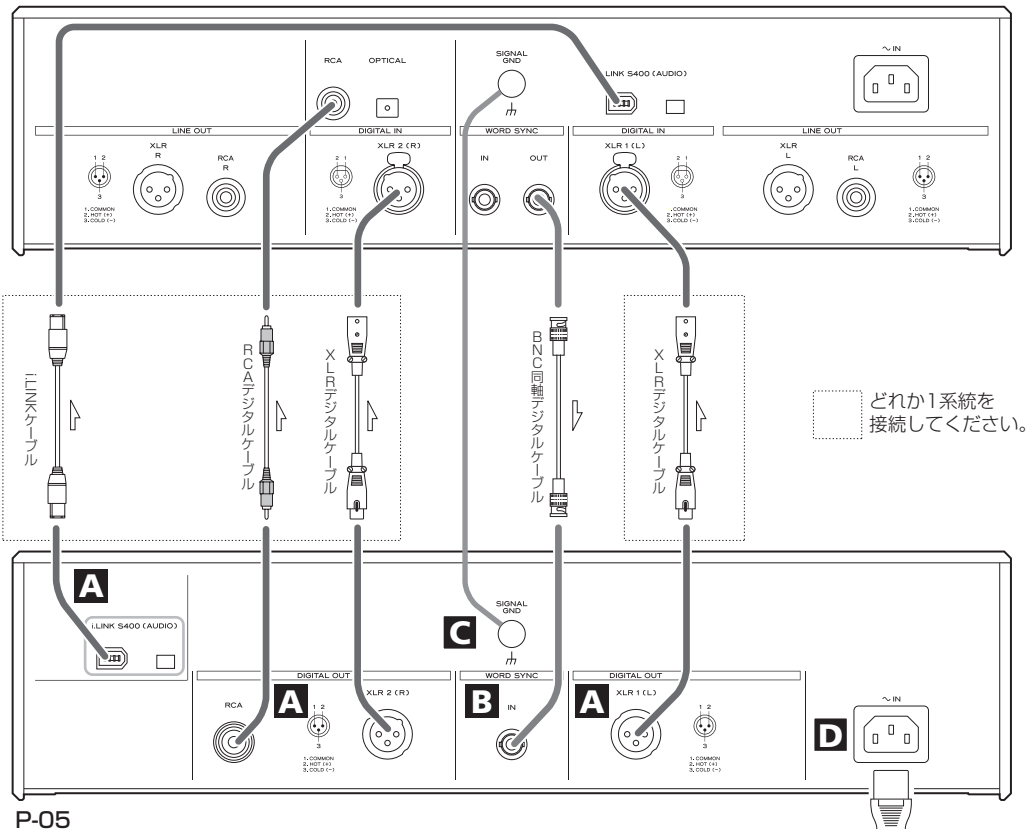
- 信号録音面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。
ディスクの汚れは音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には放置しないでください。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて再生ができなくなる場合があります。
- 再生が終ったディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- ディスクにラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ハート形や八角形など特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

- 本機はVRDSターンテーブルメカニズムを使用していますので、ディスクのレーベル面が汚れていると、ディスクがターンテーブルに貼り付いてしまう原因となります。ディスクのレーベル面に汚れがついたら、柔らかい布などで拭き取ってください。
- レーベル面に印刷するタイプのディスク(プリンタブルディスク)は使用しないでください。表面が特殊加工されているため、本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクのメーカーにお問い合わせください。

接 続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

エソテリックでは、リファレンスとして**エソテリック MEXCEL ストレスフリー7N**ケーブルを使用しています。エソテリック **MEXCEL**ケーブルシリーズは、以下のものが発売されています。

RCAオーディオケーブル	BNCデジタルケーブル
XLRオーディオケーブル	スピーカーケーブル
RCAデジタルケーブル	パワーケーブル
XLRデジタルケーブル	

A デジタル音声出力端子

デジタル音声を出力します。D/A コンバーター (D-05 など) のデジタル入力端子と接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。

XLR : バランス型 XLR デジタルケーブル
RCA : RCA 同軸デジタルケーブル
i.LINK(AUDIO S400) :
S400 対応の 6 ピンまたは 4 ピンの i.LINK ケーブル (IEEE1394 ケーブル)

接続した端子に合わせて、デジタル出力のオン/オフを設定してください。(16〜17ページ)

スーパーオーディオCDのデジタル音声を出力するためには、i.LINK(AUDIO)端子のあるD/Aコンバーターとi.LINKケーブルで接続してください。

- エソテリックの D/A コンバーター (D-01/D-03/ D-05) または Dual AES に対応している D/A コンバーターと接続する場合は、2 本のケーブルを使って本機の XLR1(L) 端子と D/A コンバーターの L 端子、本機の XLR2(R) 端子と D/A コンバーターの R 端子をそれぞれ接続してください。

- i.LINK(AUDIO) 端子は、接続した機器との双方向のデータ転送が可能なインターフェースです。入力 / 出力の区別はありません。

- i.Link 端子は、6 ピンと 4 ピンの端子を備えています。接続するケーブルによってどちらかをご使用ください。
  複数の機器と i.Link ケーブルで接続する場合は、両方の端子を使ってください。(i.Link ケーブルの接続については、26 ページをお読みください)

- i.LINK 端子を使うときは、接続した機器に合わせて「i.LINK」の設定を切り換えてください。(17 ページ)

スーパーオーディオCDをダウンミックスなしでマルチチャンネル再生するためには、i.LINK接続を用います。

まず、P-05 の i.LINK(AUDIO) 端子を D-05 の i.LINK(AUDIO) 端子と接続します。次に、D-05 のもうひとつの i.LINK(AUDIO) 端子を、もう 1 台の D-05 と接続します。3 台目も同様に、数珠つなぎに接続します (順不同)。
ワードシンク端子も接続してください (順不同)。
D-05 の設定で、それぞれ該当するチャンネルを選択してください。

B ワードシンク入力端子[WORD SYNC IN]

同期信号を入力します。
市販の BNC 同軸デジタルケーブル (インピーダンスが 75Ω のもの) を使って、D/A コンバーターまたはマスタークロックジェネレーターのワードクロック出力端子 (WORD SYNC OUT) と接続してください。

- 入力できるワードクロックは、44.1/88.2/176.4/100kHz です。(15 ページ)

C アース端子[SIGNAL GND]

SIGNAL GND を市販のビニール電線で D/A コンバーターやアンプなどとアース接続すると、音質が良くなることがあります。

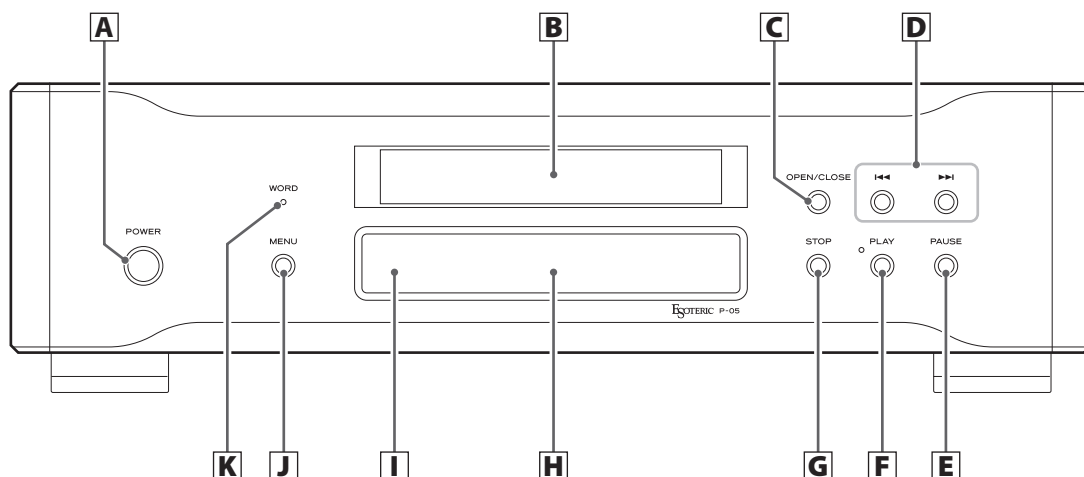
- 安全アースではありません。

D 電源コード

電源コード接続ソケットに付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込んでください。

- 本機の電源コード接続ソケットは 3 ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠ **エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。**

各部の名称(本体)

A 電源ボタン [POWER]

電源のオン/オフを切り換えます。電源がオンのときは、ボタンの周囲が青く光ります。

B ディスクトレー

C オープン/クローズボタン [OPEN/CLOSE]

ディスクトレーを開閉します。

D スキップボタン [⏮/⏭]

前または後ろにスキップします。再生中に 1 秒以上押し続けると再生スピードが変わります。(20 ページ)

E 一時停止ボタン [❚❚]

再生を一時停止します。(19 ページ)

F 再生ボタン [▶]

ディスクを再生します。(18 ページ)

G 停止ボタン [■]

再生を停止します。(19 ページ)

H ディスプレー

I リモコン受光部

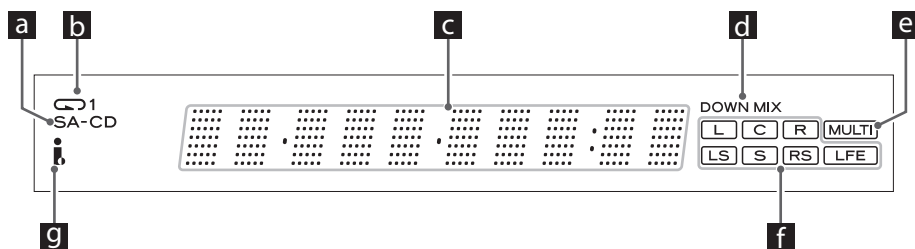
リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。(13 ページ)

J メニューボタン [MENU]

ワードシンク、DAC モード、優先再生エリア、i.LINK 出力の設定に使います。(14 ページ)

K ワードインジケーター [WORD]

ワードシンクをオンにすると点滅を始め、クロックを感知して同期すると点灯に変わります。

各部の名称(ディスプレー)

a ディスクインジケーター

セットされているディスクの種類を表示します。

b リピートインジケーター

リピート再生中に点灯します。

c メッセージ表示部

再生時間など各種メッセージが表示されます。

d ダウンミックスインジケーター

サラウンドの音声をダウンミックスして出力しているときに点灯します。

e マルチチャンネルインジケーター

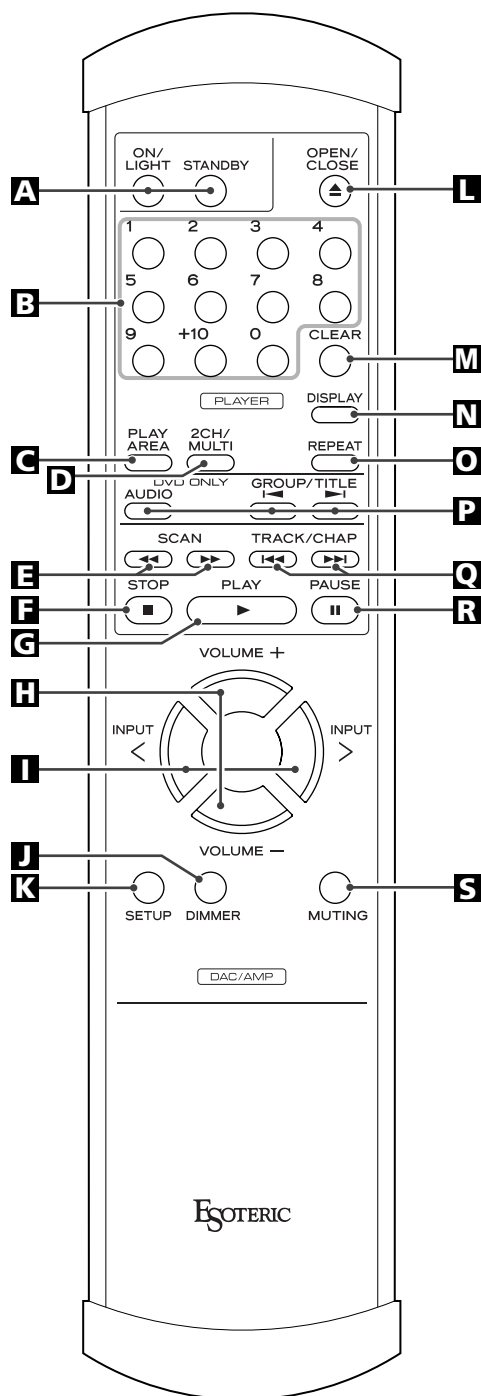
音声出力の設定が「Multi ch」のときに点灯します。

f チャンネルインジケーター

再生中の音声チャンネルが点灯します。

g i.LINKインジケーター

i.LINK 出力がオンのときに点灯します。

各部の名称(リモコン)

A オン/スタンバイボタン[ON/LIGHT、STANDBY]

本機では使用しません。スタンバイ機能のあるエソテリックの機器をオン / スタンバイすることができます。また、ON ボタンを押すと、リモコンの白いボタンが数秒間点灯します。

B 数字キー

選曲に使います。

C 再生エリアボタン [PLAY AREA]

停止中に押すと、スーパーオーディオ CD の再生エリアを切り換えます。(21 ページ)

D 2チャンネル/マルチチャンネルボタン[2CH/MULTI]

アナログ音声出力の 2 チャンネル / マルチチャンネルを切り換えます。(21 ページ)

E スキャンボタン(◀◀/▶▶) [SCAN]

早送り / 早戻しに使用します。(20 ページ)

F 停止ボタン(■)[STOP]

再生を停止します。(19 ページ)

G 再生ボタン(▶)[PLAY]

ディスクを再生します。(18 ページ)

H 音量ボタン[VOLUME]

本機では使用しません。エソテリックの D/A コンバーター、アンプなどで使用することができます。

I 入力切換ボタン[INPUT]

本機では使用しません。エソテリックの D/A コンバーター、アンプなどで使用することができます。

J ディマーボタン [DIMMER]

本体のディスプレーの明るさを 4 段階で調節できます。(22 ページ)

リモコンについて

K セットアップボタン [SETUP]

本機では使用しません。エソテリックの D/A コンバーター、アンプなどで使用することができます。

L オープン/クローズボタン(⏏) [OPEN/CLOSE]

ディスクトレーを開閉します。(18 ページ)

M クリアボタン [CLEAR]

数字キーを押し間違えたときなどに使います。

N ディスプレーボタン [DISPLAY]

再生中または停止中にこのボタンを押すと、ディスプレーの表示が切り換わります。(23 ページ)

O リピートボタン [REPEAT]

ディスクのリピート再生に使用します。(22 ページ)

P DVD操作ボタン

本機では使用しません。エソテリックの DVD プレーヤーを操作することができます。

Q スキップボタン(⏮ / ⏭) [TRACK/CHAP]

前または後ろのトラックにスキップします。
(20 ページ)

R 一時停止ボタン(⏸) [PAUSE]

再生を一時停止します。(19 ページ)

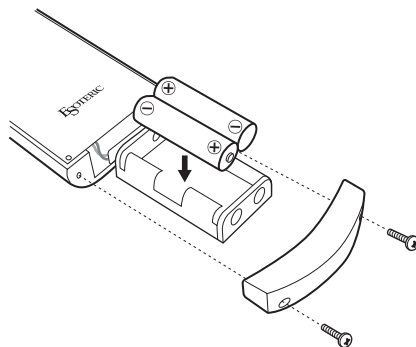
S ミュートボタン [MUTING]

本機では使用しません。エソテリックの D/A コンバーターやアンプを操作することができます。

リモコン使用上の注意

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、7メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると,赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

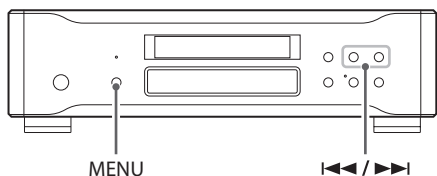
電池の入れ方

ドライバーを使ってリモコン下部のフタを外し、電池ケースを引き出してください。⊕と⊖の向きを確認して乾電池(単3形)2本を入れたら、電池ケースを戻し、フタを閉めてください。

電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。
使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

⚠ 電池についての注意

乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
4ページの注意をよく読んでご使用ください。

設定モード

1 MENUボタンをくり返し押して、変更する項目を選ぶ。

MENU ボタンを押す度に、ディスプレーの表示が変わります。
10 秒以上放置すると、設定モードは解除されて通常の表示に戻ります。

2 ⏮ / ⏭ ボタンを使って、設定を変更する。

各設定内容については、14 ～ 17 ページをお読みください。

3 通常の表示になるまでMENUボタンをくり返し押して、設定を終了する。

または、10 秒以上放置するか、停止ボタンを 1 回押すと、設定を終了して通常の表示に戻ります。

● 設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

変更できる項目と設定

CONV>＊＊＊

CD再生時にXLR端子から出力するデジタル信号の、アップコンバートするサンプリング周波数を切り換えます。

WORD>＊＊＊

ワードシンクのオンとオフを切り換えます。

LAYER>＊＊＊

スーパーオーディオCDとCDの2層構造になっているハイブリッドディスクをセットしたときに、どの層を優先的に再生するのかを設定します。

XLR>＊＊＊

XLR端子から出力するデジタル信号のフォーマットを切り換えます。

i >＊＊＊

i.LINK(AUDIO)端子から出力する信号の種類を切り換えます。

RCA>＊＊＊

RCA端子からのデジタル出力のオン/オフを切り換えます。

DAC>＊＊＊

接続するD/Aコンバーターの種類を設定します。

(通常の表示)

設定を終了します。

CONV(アップコンバート)

CDの44.1kHzのサンプリング周波数を、2倍または4倍にアップコンバートしてXLR端子から出力することができます。

88.2

CDの44.1kHzのサンプリング周波数を、2倍にアップコンバートして出力します。

176.4

CDの44.1kHzのサンプリング周波数を、4倍にアップコンバートして出力します。

OFF

アップコンバート機能をオフにします。

● i.LINK端子/RCA端子からは、アップコンバートした信号は出力できません。

● スーパーオーディオCD再生時はアップコンバート機能は働きません。

WORD(ワードシンク)

ワードシンクのオンとオフを切り換えます。

ON

エソテリックG-0RbやG-03Xなど外部同期信号(ワードクロック)を出力する機器と接続し、システムの同期(クロック)を一元化して再生するときや、本機を高精度な外部クロックで動作させるときに選んでください。

● 本機は以下のクロックに対応しており、入力された信号によって自動的に切り換わります。

44.1kHz、88.2kHz、176.4kHz、100kHz(ユニバーサルクロック)

● オンにすると、WORDインジケーターが点滅して外部クロックをサーチします。クロックを感知してロックすると点灯(青)に変わり、外部同期による再生が可能になります。

OFF

外部同期信号(ワードクロック)を使わないときに選んでください。

● ワードシンクのオン/オフを切り換えると、D/Aコンバーターからノイズが出ることがあります。本機を停止して、アンプの音量を絞ってから操作してください。

● D/Aコンバーターのワードシンクをオンにしている場合は、本機もワードシンクをオンにしてください。本機のワードシンクをオフにして使用した場合、ノイズが出ることがあります。

LAYER(優先再生エリア)

スーパーオーディオCDの中には、2チャンネルとマルチチャンネルが記録されたディスクや、スーパーオーディオCDとCDの2層構造になっているハイブリッドディスクがあります。

ハイブリッドのスーパーオーディオCDをセットしたときに、最初に読み込むエリアを設定します。

SACD

スーパーオーディオCD層を優先的に読み込みます。
25ページの「2ch/マルチchの切換」が「2ch MODE」に設定されているときは、2チャンネルの層を再生します。「Multi MODE」に設定されているときは、マルチチャンネルの層を再生します。

CD

CD層を優先的に読み込みます。
DSD信号に対応していないD/Aコンバーターを接続するときは、こちらを選んでください。

- ここで選んだ層がディスクに収録されていない場合は、他の層を再生します。
- ディスクの停止中にPLAY AREAボタンで再生エリアを切り換えた場合(21ページ)、ディスクを交換するとここで選んだ設定に戻ります。
- スーパーオーディオCDを再生するためには、i.Link端子を備えたD/Aコンバーターとi.Linkケーブルで接続してください。

XLR(XLR出力設定)

XLR端子の接続のしかたによって設定を切り換えます。

Single

XLR端子からステレオのデジタル信号を出力します。1本のXLRケーブルでD/Aコンバーターと接続しているときに選んでください。

Dual

XLR1(L)端子からはLチャンネルのデジタル信号を、XLR2(R)端子からはRチャンネルのデジタル信号を出力します。エソテリックのD/Aコンバーター(D-01/D-03/D-05)またはDual AESに対応している機器と本機を2本のXLRデジタルケーブルで接続している場合に選んでください。

OFF

XLR端子から出力しません。XLR端子を使用しないときに選んでください。

i (i.LINK)

i.LINK(AUDIO)端子をアンプまたはD/Aコンバーターと接続している場合は、i.LINK(AUDIO)端子から出力する信号の種類を選ぶ必要があります。

i.LINK端子を使用する場合は、「60958」または「PCM」に設定してください。

60958

スーパーオーディオCDの再生時はDSD信号が出力されます。
CDの再生時は、IEC60958フォーマットの信号が出力されます。

PCM

スーパーオーディオCDの再生時はDSD信号が出力されます。
CDの再生時は、リニアPCM信号フォーマットで出力されます。

OFF

i.LINK端子から出力しません。i.LINK端子を使用しないときは、OFFにしてください。

● スーパーオーディオCDを再生するときは、「60958」と「PCM」のどちらに設定しても同じ信号を出力します。

● スーパーオーディオCDのサラウンドの音声を出力するためには、「2ch/マルチchの切換」を「Multi MODE」に設定してください。「2ch MODE」にした場合は、ダウンミックスされた音声が出力されます。(21ページ)

● 音声の出力に問題がある場合は、接続したアンプやD/Aコンバーターの取扱説明書で、対応しているフォーマットをご確認ください。

● i.LINK端子で接続された受信側の機器がフローレートコントロールに対応している場合は、自動的にフローレートコントロールモードで信号を出力します。

● PCMフォーマットの信号に対応していない機器と接続するときは、60958に設定してください。

● アップコンバートの設定はi.Link端子の出力には影響しません。

RCA(RCA出力設定)

RCA端子からのデジタル出力のオン/オフを切り換えます。

ON

CDを再生したときにRCA端子から出力されます。

OFF

RCA端子から出力しません。RCA端子を使用しないときに選んでください。

● アップコンバートの設定はRCA端子の出力には影響しません。

DAC(D/Aコンバーター設定)

接続するD/Aコンバーターの種類によって、設定してください。

D-01

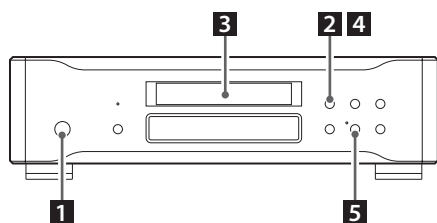
エソテリックのD-01と接続する場合に選んでください。

ES-DAC

D-01以外のエソテリックのD/Aコンバーターと接続する場合に選んでください。

Others

エソテリック以外のD/Aコンバーターと接続する場合に選んでください。

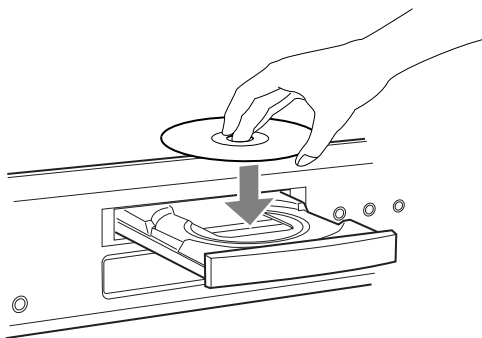
再　生

1 本体の電源ボタンを押す。

電源ボタンの周囲とディスプレーが点灯します。

2 OPEN/CLOSEボタン(⏏)を押す。

ディスクトレーが手前に出ます。

- 本機はメカニズムの構造上、トレーが開く前にピックアップを最外周に移動しますので、トレーが開くまでに時間がかかります。

3 ディスクのレーベル面を上にしてトレーの中央にのせる。

- ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレーを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレーが開かなくなることがありますので、ディスクは必ずトレーの中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。

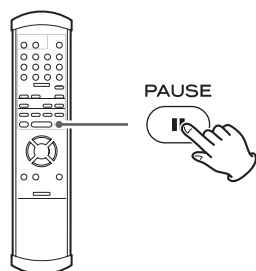
4 OPEN/CLOSEボタン(⏏)を押す。

ディスクトレーが閉まります。指を挟まないようにご注意ください。

- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。

5 PLAYボタン(►)を押す。

再生が始まります。

一時停止するには

再生中にPAUSEボタン(❚❚)を押すと再生が一時停止し、本体のPLAYボタンのインジケーターが青く点灯します。

PLAYボタン(►)またはPAUSEボタン(❚❚)を押すと、再び再生が始まります。

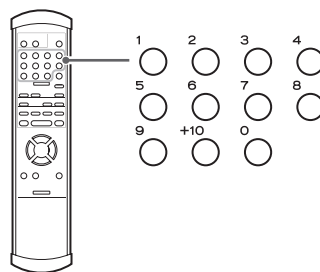
再生をやめるには

STOPボタン(■)を押すと再生が停止し、本体のSTOPボタンの周囲が青く点灯します。

ディスクトレーを開閉するには

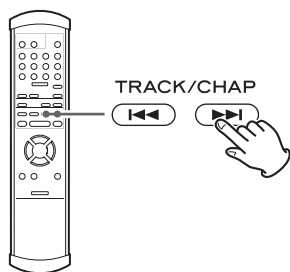
OPEN/CLOSEボタン(⏏)を押すとトレーが開き、もう一度押すと閉まります。

● ディスクの再生中にOPEN/CLOSEボタンを押した場合は、トレーが開くのに数秒かかります。

数字キーで選んで再生するには

再生中または停止中に数字キーを押すと、その曲から再生を始めます。

曲番 7 : 7

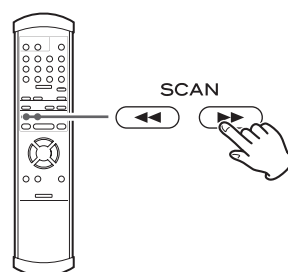
曲番 23 : +10 ⇨ +10 ⇨ 3

スキップするには

再生中に本体またはリモコンのTRACK/CHAPボタン(⏮ ⏭ ⏭)を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。

- ⏮ボタンを1回押すと、再生中の曲の頭に戻ります。それより前に戻りたいときは、⏮ボタンを続けて押してください。

  ただし、曲の最初の1秒以内で⏮ボタンを押した場合は、前の曲にスキップします。

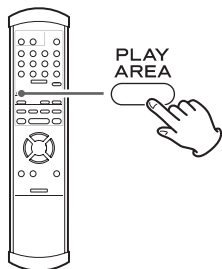
- 停止中または一時停止中に⏮/⏭ボタンを押すと、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。

早送り/早戻しするには(スキャン)

再生中にリモコンのSCANボタン(◀◀/▶▶)を押すと早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら、PLAYボタン(▶)を押してください。

SCANボタン(◀◀/▶▶)をくり返し押すと、早送り/早戻しの速度が3段階に変わります。

▶▶：早送り (1)→ 早送り (2)→ 早送り (3)
→ 通常の再生
◀◀：早戻し (1)→ 早戻し (2)→ 早戻し (3)
→ 通常の再生

- 本体の場合は、再生中にスキップボタン(⏮ / ⏭)を1秒以上押すと早送り/早戻しの速度が変わります。

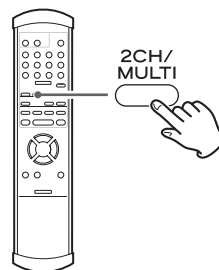
再生エリアの切り換え

スーパーオーディオCDには、2チャンネルとマルチなど複数のエリアを持つものや、スーパーオーディオCDとCDの2層構造になっているものがあります。
停止中にリモコンのPLAY AREAボタンを押すと、スーパーオーディオCDの再生エリアを切り換えることができます。

● 本体で再生エリアの切換をするには、停止中にMENUボタンを2秒以上押してください。

● ハイブリッドディスクについては、設定モードのLAYER(優先再生エリア)で、スーパーオーディオCDとCDのどちらの層を優先的に再生するのかあらかじめ設定しておくこともできます。(16ページ)

● リモコンの2CH/MULTIボタンで音声の出力を設定すると、スーパーオーディオCDのマルチチャンネルと2チャンネル両方のエリアを持ったディスクを読み込むときに、優先的に設定に合ったエリアを読み込みます。(21ページ)

● スーパーオーディオCDの2チャンネルエリアを選択すると、「SACD 2ch」と表示され、チャンネルインジケーターのL、Rが点灯します。スーパーオーディオCDのマルチチャンネルエリアを選択すると、「SACD Multi」と表示され、すべてのチャンネルインジケーターが点灯します。CDのエリアを選択すると、「CD Area」と表示され、チャンネルインジケーターは消灯します。

2ch/マルチchの切換

停止中に2CH/MULTIボタンを押すたびに、2CH/マルチCHの設定が切り換わります。

2ch MODE

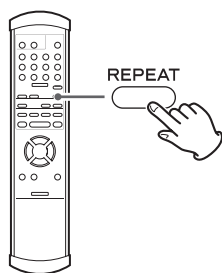
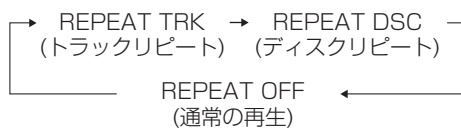
2チャンネルの音声を出力します。
この設定にすると、スーパーオーディオCDのマルチチャンネルと2チャンネル両方のエリアを持ったディスクを読み込むときに、2チャンネルのエリアを優先的に読み込みます。再生エリアを切り換えるには、ディスクを読み込んだ後で、PLAY AREAボタンを押して選んでください。
マルチチャンネルのソースを再生した場合は、音声はフロントL、Rにダウンミックスされます。(ダウンミックスインジケーターが点灯します。)
ステレオ再生するときに選んでください。

Multi MODE(マルチCH)

5.1チャンネルの独立した音声が出力されます。D-05を3台使用する場合に選んでください。
この設定にすると、スーパーオーディオCDのマルチチャンネルと2チャンネル両方のエリアを持ったディスクを読み込むときに、マルチチャンネルのエリアを優先的に読み込みます。再生エリアを切り換えるには、ディスクを読み込んだ後で、PLAY AREAボタンを押して選んでください。
2チャンネルのソースを再生した場合は、音声はフロントL、Rからのみ出力されます。

● 「Multi MODE」に設定すると、「MULTI」インジケーターが点灯します。

● 再生中は切り換えできません。再生を停止してから切り換えてください。

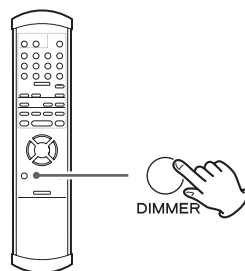
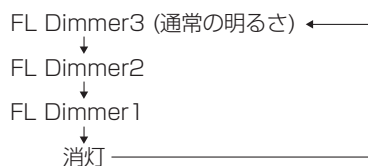
リピート再生

再生中にREPEATボタンを押すたびに、リピートモードが変わります。

トラックリピート

再生中の曲をくり返し再生します。リピート再生中に他の曲を選ぶと、その曲をくり返し再生します。

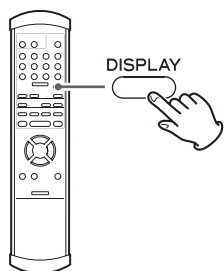
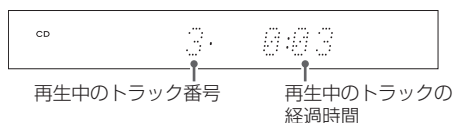
ディスクリピート

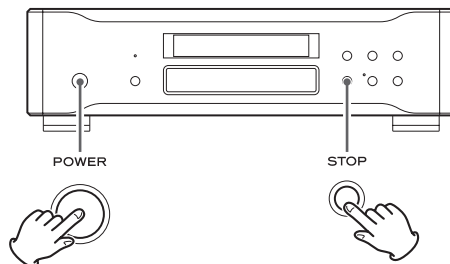
再生中のディスクの全曲をくり返し再生します。

● 再生を停止するとリピート再生は解除されます。

ディマー

DIMMERボタンを押すと、本体のディスプレーとボタン照明の明るさを調節できます。

● 「消灯」を選ぶと、ディスプレーとインジケーターが消灯します。消灯した状態で電源をオフにすると消灯は解除され、次に電源を入れたときはDimmer1の明るさになります。

● 消灯中に再生ボタンなどを押すと、約3秒間だけディスプレーが点灯します。

ディスクの情報を見る

再生中または一時停止中にDISPLAYボタンを押すと、ディスプレーの表示が次のように切り換わります。

● 停止中は、ディスクの総トラック数と総再生時間を表示します。

出荷時の状態に戻すには

設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

以下の操作をすると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。

1. 電源をオフにする。

電源がオンだった場合は、POWERボタンを押して電源をオフにしてから30秒以上待ってください。

2. STOPボタンを押しながらPOWERボタンを押す。

ディスプレーに「Setup CLR (設定消去)」が表示されたらSTOPボタンから指を離してください。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(28ページに記載)にご連絡ください。

電源が入らない。
- ➡ 電源コードが、本体背面のインレットとコンセントに接続されているか確認してください。
- ➡ 電源コードが、接続されたコンセントに電流が流れているか、別の機器を接続するなどして確認してください。

リモコンで操作できない。
- ➡ 本体の電源をオンにしてください。(18 ページ)
- ➡ 電池が消耗していたら、2 本とも新しい電池に交換してください。(13 ページ)
- ➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から 7 メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。(13 ページ)

他の電子機器が誤動作する。
- ➡ ワイヤレスリモコン機能を持つ電子機器は、本機のリモコン操作により誤動作する可能性があります。

再生できない。
- ➡ ディスクをトレーの中心に正しくセットしてください。
- ➡ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
- ➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。(7 ページ)
- ➡ 本機の内部が結露している場合は、電源を入れて 1、2 時間放置してください。(6 ページ)

ボタンを押しても反応しない。
- ➡ 続けてボタンを押すと、機械側が対応できずに動作しないことがあります。ボタンを押すときは、機械が反応するまで少しお待ちください。

雑音がする。
- ➡ テレビなど強い磁気を帯びたものからはできるだけ離して設置してください。

スピーカーから音が出ない。音が歪む。
- ➡ D/A コンバーター、アンプ、スピーカーとの接続を確認してください。(8 ページ)
- ➡ 接続した端子に合わせて、デジタル出力を切り換えてください。(14 ページ)
- ➡ アンプなどの音量を調節してください。
- ➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。(7 ページ)
- ➡ 一時停止中は音が出ません。再生ボタンを押して通常の再生に戻してください。

スーパーオーディオCDのデジタル音声を出力できない。
- ➡ スーパーオーディオ CD のデジタル音声を出力するためには、エソテリックの D/A コンバーター (D-05/D-03/D-01)、または i.LINK(AUDIO) 端子のある D/A コンバーターが必要です。
- ➡ マルチチャンネルの音声を出力するためには、i.LINK(AUDIO) 端子をマルチチャンネル対応の D/A コンバーターと接続し、「2ch/ マルチ ch の切換 」を「Multi MODE」にして、ディスクのマルチチャンネルエリア (SACD Multi) を選んで再生してください。(21 ページ)

WORDインジケーターが点滅する。
- ➡ ワードクロックが入力されてない時は、ワードシンクはオフにしてください。(15 ページ)
- ➡ 同期できない信号が入力されている可能性があります。ワードシンク端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。

「No Word!」が表示される。
- ➡ ワードクロックが入力されていません。外部マスタークロックジェネレーターとの接続、マスタークロックジェネレーターの電源や出力状態を確認してください。
- ➡ ワードクロックが入力されていない時は、ワードシンクはオフにしてください。(15 ページ)

「Word Error」が表示される。
- ➡ 同期できない信号が入力されている可能性があります。ワードシンク端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。本機で使用できるワードクロックは、44.1/88.2/176.4/100kHz です。(15 ページ)

「WRD UNLOCK!」が表示される。
- ➡ 入力されているワードクロックにロックできません。接続している機器の設定を確認してください。(15 ページ)

ディスクトレーの開閉時に「TRAY ERR!」が表示される。

➜ ディスクトレーの前に障害物があったり、ディスクが正しくセットされていないと、開閉の途中でトレーが止まり、「TRAY ERR!」が表示されます。原因を取り除いてからOPEN/CLOSEボタンを押せば、トレーは元の位置に戻ります。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

仕　様

再生可能ディスク

スーパーオーディオCD、CD、CD-R、CD-RW

一般

電源 . . . . 100V AC 50-60Hz
消費電力 16W
外形寸法(WxHxD、突起部含まず)
442mm×126mm×332mm

質量 14kg

許容動作温度 . . . . +5℃～+35℃
許容動作湿度 . . . . .5%～85% (結露のないこと)
許容保管温度 . . . . −20℃～+55℃

デジタル出力

XLR端子×2系統(Dual AES出力時は、2つの端子を使用するので1系統になります)

i.Link(AUDIO)端子(6ピン)×1系統
i.Link(AUDIO)端子(4ピン)×1系統

RCA端子×1系統

ワードシンク入力フォーマット

端子 . . . . BNC×1
入力可能周波数 (矩形波)
44.1kHz、88.2kHz、176.4kHz、100kHz
入力レベル TTLレベル相当/75Ω
ワードクロック入力周波数レンジ . . . . ±15ppm

付属品

電源コード ×1
リモコン (RC-1156)×1
リモコン用乾電池 (単 3)×2 本
フェルト ×3 枚
取扱説明書 (本誌)×1
ご愛用者カード ×1

取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

i.LINK(IEEE1394)

i.LINKとは、国際標準規格であるIEEE1394の別称です。
本機はi.LINK(AUDIO)に対応しています。
本機のi.LINK(AUDIO)端子にi.LINK(AUDIO)対応機器をi.LINKケーブルで接続すると、2chリニアPCM信号やマルチチャンネルの圧縮オーディオ信号に加え、従来アナログでしか伝送できなかったスーパーオーディオCDのマルチチャンネル信号をデジタルのまま伝送することができます。複数のi.LINK対応機器を接続する場合、他の機器を経由して接続してもデータのやりとりが可能ですので、接続順序を意識する必要がありません。

著作権保護システムDTCP

i.LINKを使ってスーパーオーディオCDの音声を再生するためには、再生機器とD/Aコンバーターの双方が著作権保護システム DTCP (Digital Transmission Content Protection)に対応していなければなりません。
本機はDTCPに対応しています。

データ転送速度

i.LINK対応機器のデータ転送速度には、100Mbps(S100)、200Mbps(S200)、400Mbps(S400)の3種類があります。本機の最大データ転送速度は400Mbpsです。
接続には、市販のS400対応の6ピンまたは4ピンi.LINKケーブルをお使いください。

複数の機器を接続するときに、データ転送速度の遅い機器を間に挟むと、データ転送速度が遅くなります。できるだけデータ転送速度が同じ機器を上流に並べて接続してください。

注意

- i.LINKの伝送フォーマットには、本機の「i.LINK(AUDIO)」(A&Mプロトコル)の他に、BSデジタルなどの「MPEG-2 TS」、DVDレコーダーやデジタルビデオの「DV」などがあります。本機にi.LINK(AUDIO)非対応の機器(パソコンの周辺機器など)を接続すると、誤動作や故障の原因になりますので、絶対に接続しないでください。

- データ転送中は、つながっている機器のi.LINKケーブルを抜き差ししたり、電源をオン/オフしないでください。

- i.LINK対応機器によっては、電源がオンになっていないとデータを中継できないものがあります。

- i.LINKに対応していても、機器によっては動作しないことがあります。

- 受信側の機器が本機の出力モードに対応していないことがあります。接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

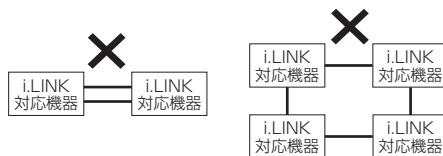
複数のi.LINK機器を接続するには

デイジーチェーン接続(数珠つなぎ)

数珠つなぎに一列に接続する場合は、本機を含めて17台まで接続できます。

ツリー接続

i.LINK端子を3個以上備えている機器がある場合、途中で分岐して接続することもできます。本機を含めて17台まで接続できます。

信号を出力した機器に、同じ信号が戻ってしまうと動作しません。接続が輪(ループ)にならないように注意してください。

この機器のi.LINKインターフェースは、以下の規格に基づいて設計されています。
1) IEEE Std 1394a-2000, Standard for a High Performance Serial Bus
2) Audio and Music Data Transmission Protocol 2.0

この規格のAM824 sequence adaptation layersの中の、IEC60958 bitstream、スーパーオーディオCDに対応しています。

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。

添付のご愛用者カードに必要事項をご記入の上、ご購入後なるべく1ヶ月以内にご返送ください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から3年です。

- 保証書発行には約 1 ヶ月程度かかります。あらかじめご了承ください。
- ご記入頂いたご愛用者カードのご購入日が弊社出荷日と大きく異なる場合 (6 ヶ月以上ご愛用者カードの返送がない場合、ご愛用者カードでのユーザー登録をせず転売された場合等) は、保証書を発行できない場合があります。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) 消耗品の自然消耗、磨耗、劣化や寿命部品等の交換が必要となった場合のメンテナンスやオーバーホール
   (7) 保証書の提示がない場合
   (8) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名 (印) の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(28ページに記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

24、25ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(28ページに記載)にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料 : 故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代 : 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料 : 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名: スーパーオーディオCD/CDトランスポート P-05

シリアルナンバー:

お買い上げ日:

販売店名:

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。

この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

エソテリック株式会社

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　　http://www.esoteric.jp/

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858
電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話等からはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。